

第13回 特別講演会

山口県の活断層と地震～菊川断層は動くのか？～

講師：金折 裕司 先生（山口大学大学院理工学研究科教授）

近い将来菊川断層が動いて大地震が起きる危険性はあるのでしょうか？平成20（2008）年に公表された山口県地震被害想定調査報告書では、菊川断層ではマグニチュード7.0の地震、最悪のケースで死者約2千人全半壊約2万棟と推計されています。

山口県に被害を与える地震には3種類あります。すなわち、活断層地震（直下型地震とも呼ばれる）、海溝型地震、およびスラブ内地震です。活断層地震の代表格として、阪神・淡路大震災を誘発した平成7（1995）年兵庫県南部地震（M7.3）をあげることができます。この大地震を契機に、日本列島は地震の活動期に入りました。

昨年3月11日に起きた東北地方太平洋沖地震（M9.0）は海溝型地震です。この超巨大地震によって悲惨な東日本大震災が勃発しました。これと同じタイプの地震が近い将来、東海沖から四国沖を経て日向灘に至る地域を震源として起きる危険性が指摘されています。この超巨大地震が起きれば、西日本大震災が誘発されます。

山口県にも地震を引き起こす活断層が全国と同じくらいあるのにも関わらず、これまで地震が少ないと誤解されてきました。ユーラシアプレートの東進で山口県は東西方向に押されているので、山口県北西部を走る菊川断層をはじめとして山口県内にある活断層は大地震を起こしやすくなっています。自分たちの住んでいる地域の地形・地質を知り、地震の起こり方やハザードマップを理解しておくことが地域防災の第一歩です。

- ・開催日時：平成24年3月20日（火）13:00～14:30
- ・場 所：豊田ホテルの里ミュージアム 多目的ホール
- ・受講料：無 料
- ・申し込み：電話・FAX・E-mailにてお申し込みください。
豊田ホテルの里ミュージアム
電話：083-767-0350 FAX：083-767-0355
E-mail：kittsomu@city.shimonoseki.yamaguchi.jp
※FAXでお申し込みの方は下記フォームにご記入いただき、このままFAXしてください。
- ・申込締切：定員になり次第締め切らせていただきます。
- ・定 員：40名

豊田ホテルの里ミュージアム 行

FAX：083-767-0355

第13回「豊田ホテルの里ミュージアム特別講演会」参加申込書

（ふりがな）
氏 名

（ふりがな）
住 所（〒 - ）

電 話 - -